



AMD A「魂と医療のプログラム」年次総会で、あいさつする菅波茂代表（中央）

奨学金制度を創設へ

慰霊活動総会で報告

AMD A

に生まれたアジア各地の学生を対象に、近く奨学金制度を創設することなどが報告された。

慰霊事業に参加しているカトリックや天理教、臨済宗などの宗教者ら約30人が出席。菅波茂AMD A代表は「戦争や災害の犠牲者の霊を慰め、現地の人たちとのきずなを強めたい」とあいさつ。04年12月に発生したインド洋大津波の慰霊祭など、昨年度の活動の成果を宗教者の代表が説明した。

新しい奨学金制度は「菅波スカラシップ」で、今年度はフィリピンやインドネシアの学生に奨学金を贈る。パキスタン北部地震の被災者なども支援する予定という。

国際医療援助団体「AMD A」（本部・岡山市）は、戦争や災害犠牲者の慰霊活動「魂と医

療のプログラム」の年次総会を岡山市内で開いた。事業の一環として、第二次世界大戦の激戦地